

令和2年度 徳島県地域年金事業運営調整会議資料

- 資料1：令和元年度地域年金展開事業実施状況・・・・・・・・・・（1～3）
- 資料2：委員から寄せられたご意見等に対する対応状況・・・・・・・・（4～12）
- 資料3：令和元年度年金セミナー実施状況・・・・・・・・・・（13～20）
- 資料4：年金セミナー アンケート集計結果・・・・・・・・・・（21～27）

日本年金機構
徳島北年金事務所
（徳島県代表年金事務所）

■ 令和元年度 地域年金展開事業実施状況

資料 1（徳島北年金事務所）

事業名		月 別												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (年金月間)	12月	1月	2月	3月	合 計
地域連携事業	企業や関係団体等における年金制度説明会の実施		新規適用事業所説明会 11名	算定基礎届説明会2回141名 市町村職員年金制度説明会 39名		新規適用事業所説明会 13名 障害者支援センター研修 25名	市町村職員年金制度説明会 11名			新適用事業所説明会 9名		消防職員専科教育研修35名 電話年金相談会 8名		10回 292名
	ハローワーク窓口での年金制度の周知啓発（徳島、吉野川、鳴門の3カ所）※日が重複するため「徳島」のみ実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	市町村広報誌での年金制度の周知啓発（掲載回数）	4市2町 6回	3市2町 5回	4市1町 5回	4市5町 9回	4市2町 6回	3市4町 7回	3市1町 4回	3市6町 9回	3市2町 5回	3市7町 10回	3市7町 10回	4市6町 10回	86回
地域相談事業	ハローワークの雇用保険受給者説明会での年金制度説明会の実施（会場数・参加人数）	1カ所 307名	1カ所 273名	1カ所 276名	1カ所 244名	1カ所 226名	1カ所 193名	1カ所 262名	1カ所 90名	1カ所 119名	1カ所 248名	1カ所 254名	1カ所 57名	1カ所 2,549名
	社労士会委託による出張年金相談（鳴門市、吉野川市、阿波市2回）	24名	25名	22名	25名	24名	27名	19名	25名	20名	20名	20名	22名	273名
ナ年金 事セ 業ミ	大学、高校、中学校、専門学校等 に出向き、年金セミナーの実施	別紙資料3にて詳細報告												
年金委員活動支援事業	年金委員研修の実施（参加人数） 年金委員表彰（被表彰者数）	職域型年金委員 研修 9名							年金委員研修 95名 年金委員表彰 3名					年金委員研修 104名 年金委員表彰 3名
	年金委員への情報提供の実施（みつばち通信等の提供回数）	○ みつばち通信			○ みつばち通信			○みつばち通信 年金生活給付支援金周知		アニユアルレポート	○みつばち通信 わたしと年金 エッセイ入賞作品集			
	四国ブロック社会保険委員会連合会連絡協議会（高松市）								1名					1名
	地域型年金委員協議会（県下合同）			14名		16名			12名		14名			56名

■ 令和元年度 地域年金展開事業実施状況

資料 1（徳島南年金事務所）

事業名		月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (年金月間)	12月	1月	2月	3月	合 計
地域連携事業	企業や関係団体等における年金制度説明会の実施			新規適用事業所説明会 13名 市町村職員年金制度説明会 14名	算定基礎届説明会 4回 286名		新規適用事業所説明会 13名				新規適用事業所説明会 4名				8回 330名
	ハローワーク窓口での年金制度の周知啓発（2カ所）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	市町村広報誌での年金制度の周知啓発（掲載回数）		2市5町 7回	2市6町 1村9回	2市5町 1村8回	2市5町 1村8回	2市6町 1村9回	2市5町 1村8回	5町1村6 回	2市4町 1村7回	2市5町 1村8回	2市5町 1村8回	1市6町 1村8回	2市5町 7回	93回
地域相談事業	ハローワークの雇用保険受給者説明会での年金制度説明会の実施（参加人数）		2カ所 216名	2カ所 154名	2カ所 109名	2カ所 77名	2カ所 87名	2カ所 93名	2カ所 117名	2カ所 70名	2カ所 73名	2カ所 75名	2カ所 93名	—	2カ所 1,164名
	阿南市、牟岐町での出張年金相談の実施（相談人数）		牟岐町 8名	阿南市 9名	牟岐町 8名	阿南市 5名	牟岐町 7名	阿南市 5名	牟岐町 6名	阿南市 5名	牟岐町 8名	阿南市 5名	牟岐町 7名	阿南市 9名	82名
年金セミナー事業	大学、高校、中学校、専門学校等に出向き、年金セミナーの実施		別紙資料3にて詳細報告												
年金委員活動支援事業	年金委員研修の実施（参加人数） 年金委員表彰（被表彰者数）			職域型年金委員研修会 8名						年金委員研修 95名 年金委員表彰 3名					年金委員研修 103名 年金委員表彰 3名
	年金委員への情報提供の実施（みつばち通信等の提供回数）		○ みつばち通信			○ みつばち通信			○みつばち通信 年金生活給付支援金周知		アニユアルレポート	○みつばち通信 「わたしと年金」エッセイ入賞作品集			
	四国ブロック社会保険委員会連合会連絡協議会（高松市）									1名					1名
	地域型年金委員協議会（県下合同）				14名		16名			12名		14名			56名

■ 令和元年度 地域年金展開事業実施状況

資料 1（阿波半田年金事務所）

事業名		月 別												合 計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (年金月間)	12月	1月	2月	3月	
地域連携事業	企業や関係団体等における年金制度説明会の実施		市町村職員年金制度説明会 14名	算定基礎届説明会 2回148名				市町村職員年金制度説明会 16名						4回 178名
	ハローワーク窓口での年金制度の周知啓発（2カ所）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	市町村広報誌での年金制度の周知啓発（掲載回数）	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	48回
	予約相談・ねんきんネットの周知広報		9カ所	148カ所				159カ所						316カ所
地域相談事業	ハローワークの雇用保険受給者説明会での年金制度説明会の実施（参加人数）	2カ所 70名	2カ所 70名	2カ所 36名	2カ所 55名	2カ所 23名	2カ所 19名	2カ所 18名	2カ所 41名	2カ所 23名	2カ所 20名	2カ所 29名	—	22カ所 404名
	美馬市での出張年金相談の実施（相談人数）								2名					2名
	三好市での出張年金相談の実施（相談人数）								5名					5名
	東みよし町での出張年金相談の実施（相談人数）								11名					11名
年金セミナー事業	大学、高校、中学校、専門学校等に出向き、年金セミナーの実施	別紙資料3にて詳細報告												
年金委員活動支援事業	年金委員研修の実施（参加人数） 年金委員表彰（被表彰者数）		職域型年金委員研修会 9名						年金委員研修 95名 年金委員表彰 2名			年金委員研修 21名		年金委員研修 125名 年金委員表彰 2名
	年金委員への情報提供の実施（みつばち通信等の提供回数）	みつばち通信					みつばち通信		みつばち通信 年金生活給付支援金周知	かけはし	アニュアルレポート	みつばち通信 「わたしと年金」エッセイ入賞作品集		
	四国ブロック社会保険委員会連合会連絡協議会（徳島市）								1名					1名
	地域型年金委員協議会（県下合同）			14名		16名			12名		14名			56名

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料2（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
1	山本委員 平成25年3月13日開催の調整会議	後納制度による納付により、年金を受給できることとなった人数を教えてください	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	徳島県内の推定数字は作業により提供可能と考えるが、求められているのは全体の数字であり、機構として提供できるのか否かを確認したうえで対応したい。 後納制度を利用したことにより受給期間を満たした方は全国で、15,066人。
2	黒田委員 平成25年3月13日開催の調整会議	厚生年金の適用・未適用の事業所データを提供できないか	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	日本年金機構個人情報保護管理金取扱要領、個人情報提供ガイドライン（事業所情報等の年金個人情報ではないが、個人情報保護管理規程において準用する）により、提供先と提供データ、根拠法令及び使用目的が定められているため、ご理解をお願いする。 【内部規定はお示しできないので口頭でご理解を得たい】
3	黒田委員 平成25年3月13日開催の調整会議	厚生年金への加入については義務と考えるので、真面目な会社のみ損をしないよう、法による根拠を示してほしい	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	厚生年金保険法第6条（健康保険法は第3条）に該当する事業所は適用事業所とするとされています。 【社会保険六法を持参してお示ししたい】
4	野口委員 平成25年6月21日開催の調整会議	ハローワークでの説明会で口座振替、クレジットカードの取扱いについて	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	「国民年金の保険料口座振替納付申出書兼依頼書」があり、必要事項をご記入のうえ、口座届出印を押印し、金融機関の確認印をいただいた後、提出していただくようになる。その場でご記入、押印いただいたら、金融機関へはこちらのほうから送付し、ご返送いただく取り扱いとしている。クレジットカードでのお支払いについては既に実施している。カード名義人は本人以外の家族のカードでも同意をいただければご利用いただける。クレジットカードの有効性の確認をさせていただいている。クレジット会社が一旦、立替払いをするので、カード残額がなくても納期に納付となるメリットはあると考える。
5	南委員 平成25年6月21日開催の調整会議	県下で地域型年金委員と職域型年金委員はそれぞれどのくらいの数があるのか。 職域型の年金委員は沢山いるが、地域型の年金委員については、少ないので増やしていかないといけない。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	地域型年金委員の方は、25年1月に更新の手続きがあり、現在、県下で18名です。地域型の年金委員は徳島北事務所管内584名、徳島南事務所管内458名阿波半田事務所管内190名徳島県として1,232名となっている。 年金委員の重要性を認識 職域型年金委員辞退時に人事異動等の場合は後任の方の推薦依頼、退職の場合は職域型から地域型への移行を勧奨する。
6	南委員 平成25年6月21日開催の調整会議	年金出前授業の推進について	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	平成25年11月20日、年金セミナー実施。 60分、対象者：2年生 53名 平成25年度第2回資料「年金セミナーアンケート結果」のとおり

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料2（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
7	前田委員 平成25年6月21日開催の調整会議	高等学校での出前授業をぜひやっていただきたいと思っている。具体的な話があれば、ご相談いただいたら、協力させていただきたい	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	今後とも、引き続きご協力をお願いしたい。 平成26年度より教職員OB等を「地域年金推進員」として委嘱し、特に高校・中学を対象に個別学校訪問形式で年金セミナーなどの活動を行う予定。
8	南委員 平成25年6月21日開催の調整会議	エッセイの受賞者への記念品は	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	昨年も図書券だったが、応募の状況を見ていると、昨年、約450名の方に応募いただいたが、その中の85%の方が高校生だった。そういったこともふまえ図書券の予定です。
9	中村委員 平成25年6月21日開催の調整会議	地域年金展開事業について、色々な取組、広報を行う場合に、どこに狙いを置き、そのためにはいろいろな工夫が必要。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	委員の皆さまのご意見、ご協力、あとネットワーク等もぜひご活用させていただきたい。
10	谷口委員 平成26年3月12日開催の調整会議	資料3「年金事務所別の後納制度利用状況・納付状況」の徳島北・阿波半田年金事務所に比べ徳島南年金事務所の相談受付件数が非常に多いが何か要因はあるのか	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	徳島市の国民年金の管轄は徳島北年金事務所であり、お知らせ件数は徳島北年金事務所で計上されているが、同じ市内にある徳島南年金事務所の方へご相談に行かれた方も多かったものと考えている。
11	青木委員 平成26年3月12日開催の調整会議	マスコミ等に対して、資料を情報として提供するなどして、後納制度の説明や状況を記事で広報してもらう等の試みもよいのでは。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	そういった機会を作れるようにしたい。
12	米澤委員 平成26年3月12日開催の調整会議	「年金セミナー」について、2年生の学生が対象ですが20歳ということ意識して対象として選定されたのか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	基本的には、20歳になる学生で、これから年金に加入、納付となる年齢です。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料2（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
13	三宅委員 平成26年3月12日開催の調整会議	年金エッセイ募集の学校への働きかけについて	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	徳島県教育委員会へ協力依頼を実施。 県内大学、高等学校、中学校へ募集のポスター、リーフレットを送付。
14	南委員 平成26年3月12日開催の調整会議	説明の言葉について、できるだけわかり易い言葉に置き換えるとか、もう少し詳しい説明が必要ではないかと感じた。 この制度は将来的にも維持されていく制度ですという説明をされた方がよい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	今後のセミナーの実施に活かしていきたい。
15	谷口委員 平成26年3月12日開催の調整会議	アンケートについて、講義を受ける前と後のイメージについて、五者択一となっているが、その理由も選択肢で選べるようにしたらいいのではないかな。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	全国統一的な様式となっており、また、スペースの関係もある。見直し等の時に要望としてあげたい。 なお、平成26年度のアンケート用紙について、見直しがされている。別添資料のとおり。
16	三宅委員 平成26年3月12日開催の調整会議	2000年生まれの方の試算があるが、何歳まで生きられたらという試算であるとの説明を加えたらと思った。資料が平成21年度財政検証結果レポートとなっているが少し古いのではないかな	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	厚生労働省年金局から出ているものであり、新しい資料はまだ出ていない。出れば新しいものに差し替えをさせていただく。
17	村上委員 平成26年3月12日開催の調整会議	スタートしたばかりなので、企業に影響はないと思うが、これが進んできた時に各企業の年金委員の方にもこのようなことを行っているということを周知していただきたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	委員研修会等での周知を図りたい。
18	米澤委員 平成26年3月12日開催の調整会議	高校生、大学生が対象であれば、障害年金等のこともクローズアップして説明をしたらよいと思う。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	今後のセミナーの実施に活かしていきたい。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料2（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
19	南委員 平成26年3月12日開催の調整会議	セミナー開催時のエッセイの入選作品集の配布	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	エッセイの作品集については、学校への配布についても考えていきたい。「知っておきたい年金のはなし」にも一部掲載されているのでこれを活用したい。
20	山本委員 平成26年3月12日開催の調整会議	地域型の年金委員の活動の場というのはあまりないのが現状であり、なかなか簡単には増やせない状況です。行政の方から自治体、地域の自治会、町内会に対してもう少し働きかけていただきたいと思う。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	地域に出向くということで、自治体に働きかけていきたい。自治体を辞められた方に地域型の年金委員への委嘱をお願いする等広めていき、どのような活動をすればよいのかも協議しながら取組を進めていきたい
21	米澤委員 平成26年6月13日開催の調整会議	今会議について、マスコミに対して積極的に働きかけていますか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	四国ブロック管内ではこれまで1件しか取材がない状況です。早めにプレスリリースをするようにしたい。
22	青木委員 平成26年6月13日開催の調整会議	年金セミナーで、もう少し文科省にも働きかけることが大事なのではないでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	一昨年から文科省をお願いをし、各県の関係機関および教育委員会に通知を出してもらっている。また、学生納付特例申請書の受付について、学校で受付できる仕組みも県の教育機関等へ通知を出してもらっている。
23	南委員 平成26年6月13日開催の調整会議	大学では持ち運びに便利なパンフレットを持って帰っている傾向です。少し小さなパンフレットにする工夫をお願いしたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	学生納付特例や20歳での国民年金加入などのチラシ・パンフレットはA4版の三つ折りでの提供ができます。また、「国民年金・厚生年金 被保険者のしおり」A6版もありますので、設置をいただきたいと思います。
24	草野委員 平成26年6月13日開催の調整会議	年金セミナー開催の働きかけについて特定の学校、大学に直接お願いに行くことが有効。今回、年金推進員として教員のOBを推薦させてもらった。これまでのネットワークでセミナー実施に向けて進めていければと思います。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	地域年金推進員の積極的な取組みにより、徳島北管内の高校20校のうち8校10回および中学校1校の合計11回のセミナーが実施できました。アンケート結果では、セミナー実施前と実施後では、年金制度に対する理解が大幅に増加しました。また、多くの意見や要望もいただきました。今後も、地域年金推進員の力をお借りしながら、セミナーを実施していただいた高校中学は引き続き実施に向けて取組み、また実施できていない高校は粘り強く要請を行っていく。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料2（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
25	田村委員 平成26年6月13日開催の調整会議	地域年金推進員の委嘱要件②(管理担当事務所及び管轄地域内で活動できること)について、地域に沿った委嘱要件にした方がよいのでは。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	原則は管轄区域内ですが、地域年金推進員のこれまでの経験やネットワークの中で、管理担当事務所と相談して柔軟に対応してもよいと考えている。
26	草野委員 平成26年6月13日開催の調整会議	マスコミに取り上げてもらうために、学校でのセミナー実施のうえに、他の団体で、今までやっていなかった協力関係の場をつくるなど、目新しさを出した方がよいのでは。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	この会でいろいろご意見をいただき、より効果的なものを可能な限り取り入れて、マスコミに取り上げていただけるよう取り組んで参りたい。
27	南委員 平成26年6月13日開催の調整会議	「わたしと年金」エッセイについて、その作品をどう活用するかを考えていただきたい。うまく多くの人々に伝える活用の方法を考えていただきたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	教育委員会や高校、大学などの教育機関、市町村、社会保険労務士会、関係機関等へ送付している。また、年金委員・健康保険委員の研修会での配布、年金事務所の待合室への設置や日本年金機構HPでも公表しています。今後も多くの人に読んでいただけるよう様々なところへ設置または配布を取り組んでいきたい。
28	南委員 平成26年6月13日開催の調整会議	ねんきんネットについて、もう少し簡単・便利な仕組みにしてほしい。高齢者にとって利用しやすくしてほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	ねんきんネットも「より使いやすい、より便利に」の視点で進化を続けておりますが、高齢者にとってはまだまだ使いにくいと考えます。もっと簡単で分かりやすい仕組みに引き続き本部に要望してまいります。
29	南委員 平成27年3月19日開催の調整会議	地域相談事業の実施状況について、事務所ごとに数字がありますが、前年度と比べての数字があった方がより活発になった取組み、取組みが足りない事業が見えてくるのではないかな。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年6月26日）	資料については、前年度と比較できるような資料を、できるだけ作成し提示したいと思います。今回は、年金セミナーの実施状況と納付率推移について提示します。
30	米沢委員 平成27年3月19日開催の調整会議	パンフレットやチラシの内容について、年金制度は分かりにくいとか、難しいというイメージがあるため、学生等や年金を受け取る側からの意見を取り入れ、初心者向け、学生向けとしたパンフ等を作成するということではないかな。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	前回のこの会議で「チラシ等をコンパクトにできないか」というご意見に対しお示ししたものです。今後、そのような意見を取り入れて作成していきたい。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料2（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
31	南委員 平成27年3月19日開催の調整会議	年金制度説明会において、年金セミナーと同様に説明会終了後、アンケートを実施してはどうか。そのアンケートによりフィードバックされることによって、制度そのものをもっと理解していただくことがこの事業の能率を上げていくためには必要ではないか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年6月26日）	徳島北年金事務所ではアンケートを実施しているところですが、今後は全拠点において、事業所等に出向いて年金制度説明会をする場合は、終了後にアンケートを実施していきたい。
32	高橋委員 平成27年3月19日開催の調整会議	今後のセミナー実施の参考とするため、年金セミナーのアンケートの集計方法は、大学、高校、中学、専門学校の4種類の対象者に分類した方が良いのではないか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年6月26日）	年金セミナーについては、高校生を主として実施しているところですが、大学、専門学校、中学校においても実施するため、今後は4種類に分類して集計したい。
33	米沢委員 平成27年3月19日開催の調整会議	再就職支援セミナーで講師をした中で、再就職を支援する方に労働保険、社会保険を説明したが、年金のことを「もっと知りたい」という意見が多かった。女性の再就職に着眼して、関係機関にパンフを配布する等、事業展開してはどうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	働く女性が多くなっているため、再就職を支援する関係機関等に対しパンフ等設置の協力依頼をしていきたい。
34	中村委員 平成27年3月19日開催の調整会議	年金セミナーについては学生が対象だが、その保護者や一般（現役世代）の方も対象としていく方法もあるのではないか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	・地域型年金委員の活動として、取り組むことを考えている。（27.6.26） ・平成28年3月に、事業所に出向いて、年金制度説明会を、55歳以上と55歳未満に分けて開催する。若い世代に対して、試みとして年金セミナーを開催する予定としている。また、28年度から学校の教職員や保護者に対するセミナーも計画中である。（28.3.24） ・平成28年3月に、40歳～54歳までの高校生・大学生の子供を持つ従業員を対象に、事業所に出向いて、年金制度説明会を実施した。内容は、年金セミナー的であったが、受講者に好評であったため、今後、事業所に出向いて実施する年金制度説明会の中に、55歳未満の従業員に対する年金セミナーも選択肢として追加することとした。また、教職員を対象とする年金セミナー開催に向け、年金推進員を通して学校側にアプローチしたが、時間的余裕がないため開催のメドは立たない状況である。その対策として、生徒向けの年金セミナーに、教職員の方にもできる限り出席していただくようお願いして何人かの教職員の方が出席している状況である。（28.10.28）
35	中村委員 平成27年3月19日開催の調整会議	保険料を納付した人と納付しなかった人の具体的な違いを示すことによって、年金に対する意識が違ってくるのではないか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年6月26日）	年金セミナー打合せ会において、地域年金推進員からも、同様な意見が出ている。保険料を納めた人と納めなかった場合や免除（猶予）申請をした人と申請をしなかった場合にどのような違いができるのかについて、具体的な金額を示す等、講師が説明するようにしていきたい。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料2（徳島県）

36	中村委員 平成27年3月19日開催の調整会議	エッセイ作品集のドキュメンタリーを放映したり、また、「わたしと年金」エッセイを読んだ方が「ねんきんネット」の活用方法にも興味を示すようなしくみを作ると、より一層、お互いが、引き立つのではないかな。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年3月24日）	・エッセイ作品集のドキュメンタリーDVDの製作、及びエッセイ入賞作品集の最終ページにねんきんネットのPRを掲載することについて、本部へ要望します。（27.6.26） ・27年度エッセイ集に、「ねんきんネット」の広報については、不正アクセス問題のため実現していないが、引き続き、本部へ要望していきたい。（28.3.24）
37	南委員 平成27年6月26日開催の調整会議	徳島県では、「わたしと年金」エッセイ募集について、学校単位での応募が、まだ無いようだが、学校単位で応募できるよう開拓していただきたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年3月24日）	地域年金推進員のセミナーに対する情熱とご尽力により、学校単位の応募が県下3高校からあり、生徒280人の応募があった。その中から、厚生労働大臣賞に次ぐ日本年金機構理事長賞を受賞した。機構本部で表彰式があり、その後、出身学校でも全生徒の前で表彰式を執り行った。このことが地元新聞にも大きく掲載された。また、1月に開催された校長会に、四国ブロック本部幹部が出席して、お礼と協力依頼を行うことができた。 28年度においては、年金セミナーを、高校1～2年生を対象として夏休み前に実施し、夏休みの宿題として、エッセイ応募に繋げていく計画をしている。
38	南委員 平成27年6月26日開催の調整会議	参加型年金セミナー資料について、学生は、生活費がどれだけかかっているか等は、イメージしにくいと考えるが、数字を使うことも困難と思うので、講師が、そのヒントになるようなことをお話してあげると良い。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年3月24日）	年金セミナー資料については、制限がある中、地域年金推進員と年金事務所のセミナーPTが協議しながら、大学・専門学校、高校においても、進学校と就職校に応じた資料を作成して、それに応じた講義をしている。また、生活費等に具体的な数字を使用することについては、日本年金機構HP等の資料を使用し、講師ができるだけ分かりやすく説明している。
39	委員 平成28年3月24日開催の調整会議	年金セミナー実施後の生徒からのアンケート回答欄の「公的年金制度は必要だと思いますか？」の選択項目について、「必要ない」と回答し、その理由として、「5.民間の生命保険で生活」等は、学生には難しく、もう少し学生向けの選択肢にされたらどうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	年金セミナーに関するアンケート用紙については、機構本部が作成し、全国共通として使用しているところですが、確かに学生の方にはピンと来ないかもしれません。この項目も含め、アンケート内容の見直しについて、機構本部へ要望を上げております。
40	委員 平成28年3月24日開催の調整会議	年金セミナー実施後の生徒からのアンケート結果について28パーセントの効果に繋がらなかった原因はわかりますか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	徳島県集計のアンケート結果では、「まあ良い」以上の評価がセミナー開催後は72%になり、残り28パーセントの原因の分析として、現行のアンケートでは、「意見欄」で判断するしか方法がなかったが、平成28年度からは、年金セミナーアンケートに、「今回、セミナーを受けた後も年金のイメージが良くならなかった理由はなんですか？」というストレートな質問項目を追加するように改めました。したがって、アンケート集計結果により、「効果に繋がらなかった原因」を分析することが可能となった。（別紙アンケート参照、全国共通）
41	委員 平成28年3月24日開催の調整会議	県下高校に対して実施した年金セミナー・アンケートの内容と学校側からの要望について知りたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	アンケートの内容は、年金セミナー開催に協力できるかどうかを質問し、協力できる場合は、開催時期と対象学年について回答をお願いするという、シンプルな内容となっています。（別紙、アンケート用紙を参照） 学校側から要望として、通常のカリキュラムの中では、年金セミナーを開催する時間的余裕がないので、修学旅行中や学期末考査後の特別時間割に入れさせてほしい旨の要望が多い。その結果、セミナー開催時期が12月～2月に集中してしまうことになる。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料2（徳島県）

42	委員 平成28年3月24日開催の調整会議	年金事務所は、年金セミナー実施後の生徒からのアンケートの意見欄は生徒の生の声なので、これを今後の講義資料の中に組み込み、幅広い年齢層に対し講義ができるよう講義資料を充実して、年金推進員に協力してほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	年金事務所では、若手の県下年金セミナーPT（10名）を、昨年度より立上げ、セミナー講師や講師補助をしている。今年度は5月から毎月PT会議・研修会を開催して、重複開催等、年金推進員が講義できないときの講師として、講師養成研修と講義資料の見直しを実施している。また、年金推進員との打合せ会議を定期的で開催し、アンケート結果等も分析して、講義資料を改良した。年金セミナーでは、専門学校、進学校、就職校など、受講生に合わせた講義資料作りや講義の流れに配慮するなど、年金推進員のレベルアップが図られている。今後も年金推進員と協力連携を図っていきたい。
43	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	年金セミナーは、教職員や保護者に対するアプローチはしているかどうか。また、事業所に出向いての年金制度説明会において、お子さんをお持ちの親御さんや保護者に対しては何か説明をしているか教えてほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	教職員に対する年金セミナーの開催について、年度当初に県研修課に協力依頼したが、先生方が一堂に会することは困難な状況との回答であったため、当面は生徒に対する年金セミナーにできる限り多くの先生方に参加していただくよう、学校側にお願いしている。保護者に対するアプローチは、事業所に対して年金制度説明会をする程度である。年金制度説明会は、55歳以上の方を対象として、年金手続きや退職後の年金等について説明をさせていただいている。高校生や大学生の親御さんのみを対象した説明会は実施していない。ただし、年金制度説明会に40歳代や50歳代前半の方が参加している場合は、学生納付特例制度の説明もしている。
44	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	年金セミナーPT職員も講師をしているということだが、セミナー終了後のアンケート結果をよく分析して、年金制度をこれから支えていく若い世代に「将来の不安」や「制度の不透明さ」等を理解していただかないと将来に必ず影響がでると思う。特に生徒の「意見・感想」は一番大事な生の声なので分析に力をいれるようお願いしたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	セミナー終了後に実施するアンケートの意見・感想は多くの生徒さんからいただいている。今後のセミナーPT会議・研修会において、詳しく分析して年金セミナーに役立てていくよう努めていく。年金セミナーについては、ほとんどは地域年金推進員の方に講師をお願いしているが、12月～2月にセミナーが集中するので、セミナーPT職員が講師をすることも多くなる。これまで地域年金推進員の方が講師をする場合も必ず補助者として参加させ、地域年金推進員の方の話し方等を実地研修させている。
45	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	事業所に出向いて年金制度説明会の対象年齢を決めているかどうか。若い方に老齢年金の請求の説明は理解が難しいので、すべての方を対象とするより定年前の方を集める方がよいと思うがどうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	以前は55歳以上の方を対象に説明会を開催していたが、若い方も年金制度そのものを知りたいというご意見もあり、今年度から若い方も含めて開催している。幅広い年齢層に対しても理解しやすい説明内容にするよう工夫をしている。年金への疑問は十人十色であり、だいたい説明会終了後に30分ほど延長して個別に質疑応答している。また、必要な方には年金加入期間照会票や年金見込額照会票をご記入いただき、後日、ご本人に直接郵送にて回答するサービスも実施している。本日のデモンストレーションは老齢年金請求について30分設定で開催したが、本番は基本1時間で開催している。
46	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	国民年金保険料の納付率は、60%ということだが、残り40%の方の対応や取組み状況について教えてほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	40%については、国民年金保険料を納めていない未納者ということになるが、その中には、所得が少ないため一部免除申請が承認されても納められない方も含まれている。これら未納者全員に対し、納付勧奨を実施している。
47	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	国民年金保険料を納付しない人に、厳しめの対応はできないか。また、納付しない理由は色々あると思うが、納められない原因を突き止めていけば、もっと対策ができると思うがどうか。また、学生へのアプローチを強めていけば、今後の納付率にも繋がるのではないか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	国民年金は、未納者全員に納付勧奨している。一定所得があれば、差押え予告後、強制的に財産を差し押さえることはしている。また、学生へのアプローチについては、大学や専門学校に対するセミナー開催やイベントの協力依頼も含め、今後も強めていきたいと考えているところである。なお、高校生に対する年金セミナーにおいても、引き続き学生納付特例申請のPRに努めていく。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料2（徳島県）

48	委員 平成29年3月16日開催の調整会議	DVDの視聴できるサイトとかあれば気軽にみられるのでは。また、5分くらいの短縮バージョンが好ましいと思います。	☐ 今回報告案件 ☒ 継続対応中 ☐ 報告済	貴重なご意見として、本部関係部署に要望してまいります。
49	委員 平成29年10月20日開催の調整会議	以前は、機構のホームページにはリーフレット類が多く掲載されていたが、最近は少なくなった気がする。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成30年3月20日）	委員の事務所を訪問し、機構ホームページ上のパンフレット類を確認。現在掲載してある分を確認していただきました。委員の希望された「厚生年金適用関係の手引き」については、各種手続きごとに、説明ページと届書ダウンロード機能がありますが、たしかに「手引き」は掲載されていないため、本部関係部署に要望してまいります。
50	委員 平成29年10月20日開催の調整会議	年齢別の国民年金納付率がわかる資料を出していただけたらと思いますが、いかがでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成30年3月20日）	地域年金展開事業を審議していただくためにも、状況把握できる資料として今回から資料として提示します。ただし、年1回しかリスト作成されません。
51	委員 平成30年10月17日開催の調整会議	強制徴収、免除者数（特に学生納付特例）の件数等資料があればと思いますが、いかがでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済	前回の会議でご要望がありましたので、今回から資料として提示します。
52				
53				

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

令和元年度 年金セミナー実施状況【徳島県】

資料3-1

実施回数

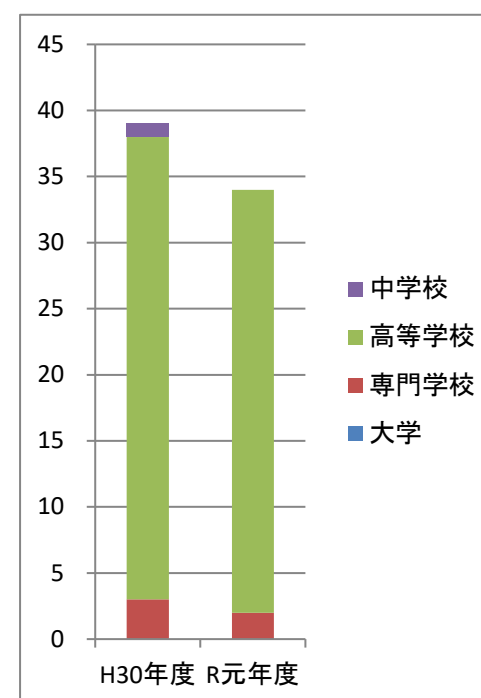
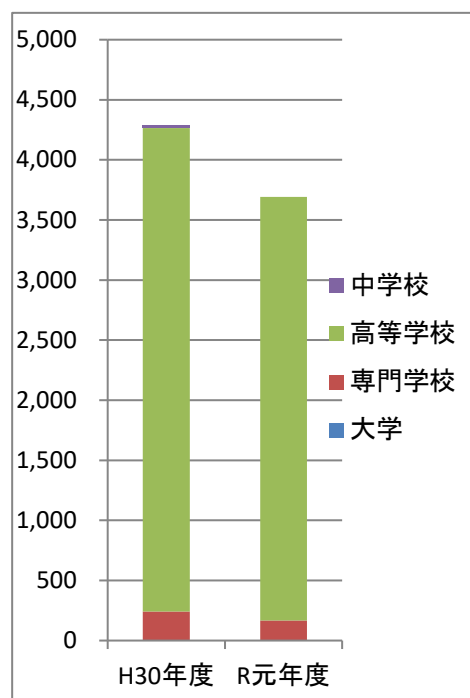
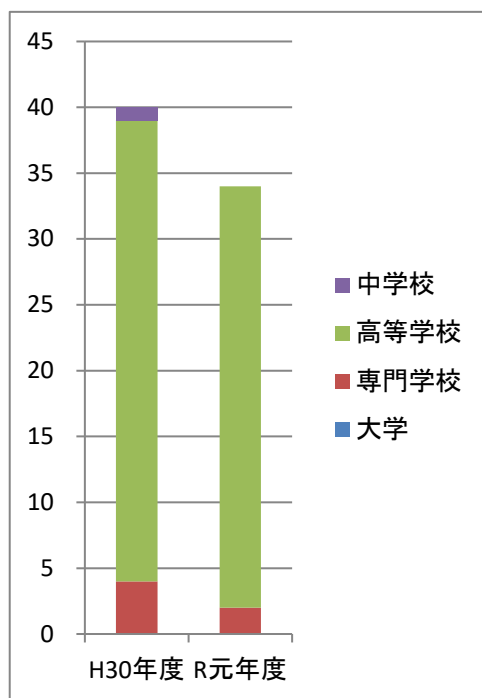
	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	4	2
高等学校	35	32
中学校	1	0
計	40	34

受講者数

	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	241	167
高等学校	4,023	3,526
中学校	24	0
計	4,288	3,693

学校数

	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	3	2
高等学校	35	32
中学校	1	0
計	39	34

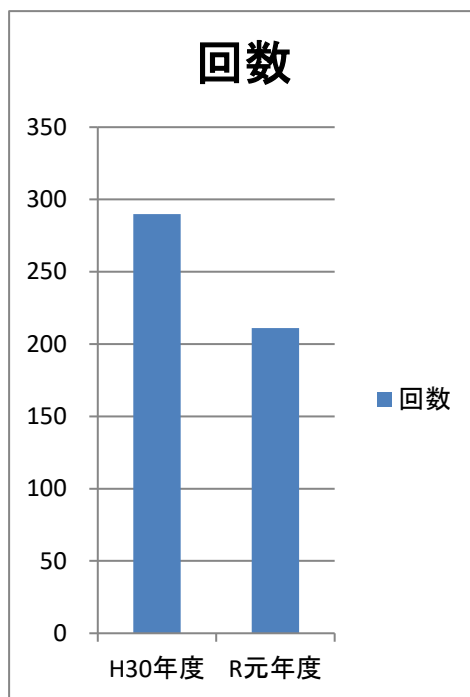


令和元年度 年金制度説明会 実施状況【徳島県】

資料3-2

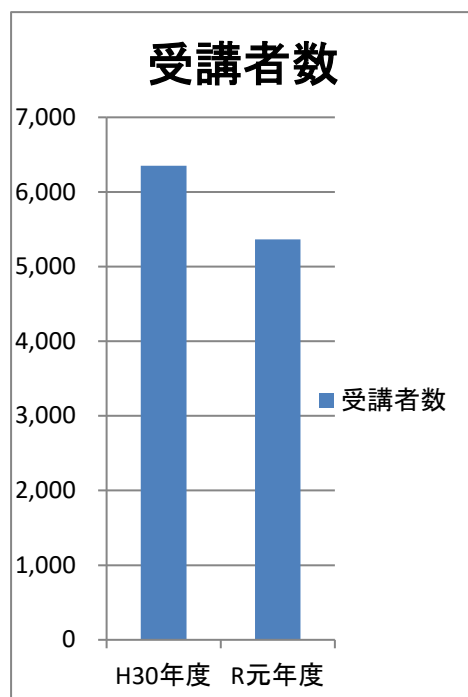
実施回数

	H30年度	R元年度
回数	290	211
計	290	211



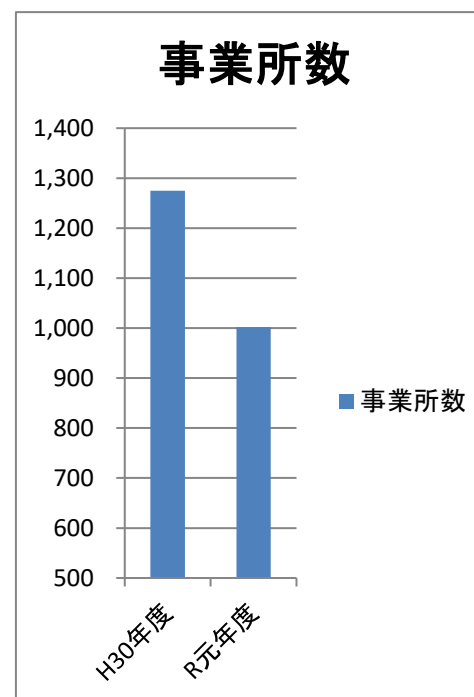
受講者数

	H30年度	R元年度
受講者数	6,353	5,366
計	6,353	5,366



事業所数

	H30年度	R元年度
事業所数	1,275	1,002
計	1,275	1,002



令和元年度 年金セミナー実施状況【徳島北】

資料3-3

実施回数

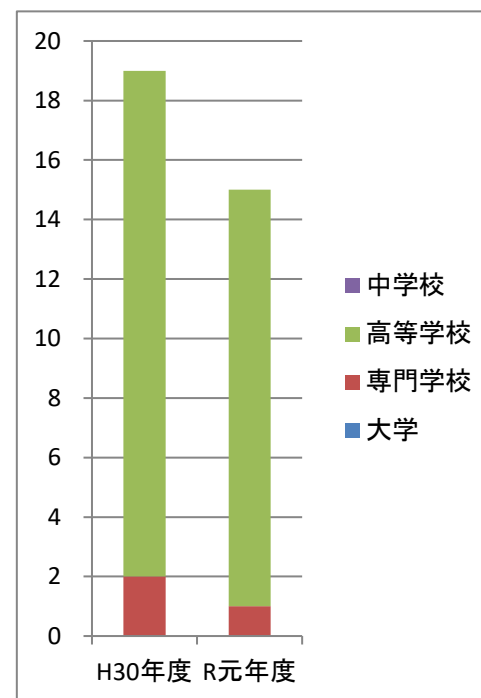
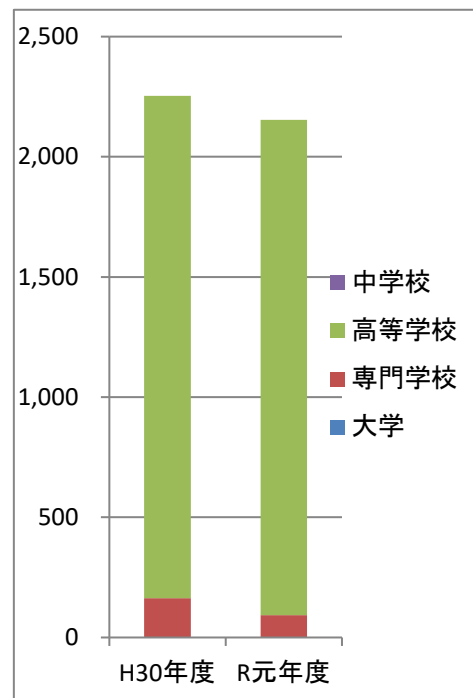
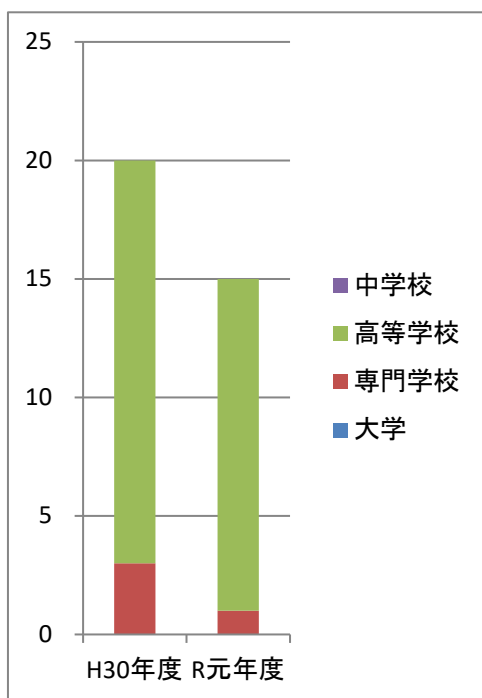
	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	3	1
高等学校	17	14
中学校	0	0
計	20	15

受講者数

	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	164	93
高等学校	2,090	2,060
中学校	0	0
計	2,254	2,153

学校数

	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	2	1
高等学校	17	14
中学校	0	0
計	19	15

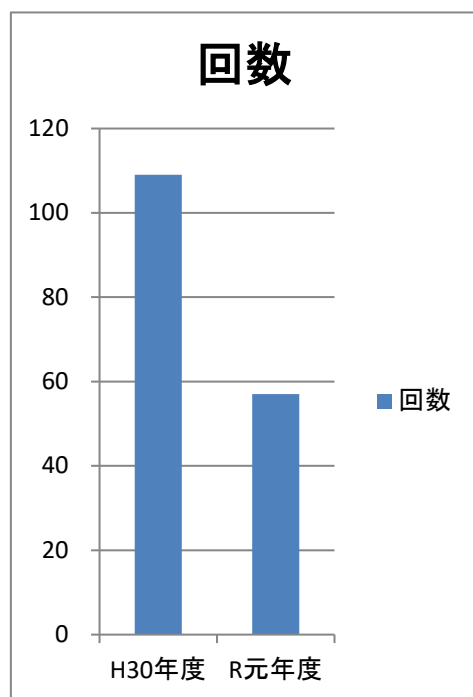


令和元年度 年金制度説明会 実施状況【徳島北】

資料3-4

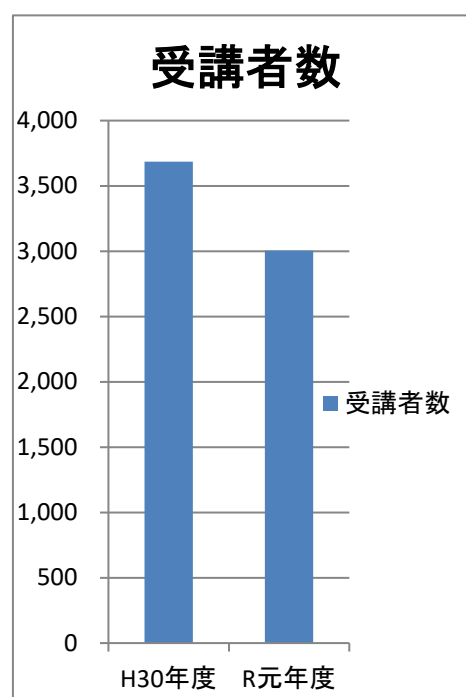
実施回数

	H30年度	R元年度
回数	109	57
計	109	57



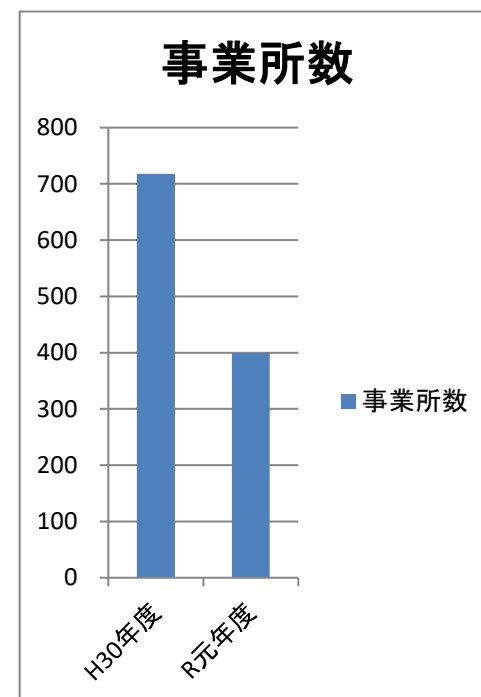
受講者数

	H30年度	R元年度
受講者数	3,685	3,004
計	3,685	3,004



事業所数

	H30年度	R元年度
事業所数	718	399
計	718	399



令和元年度 年金セミナー実施状況【徳島南】

資料3-5

実施回数

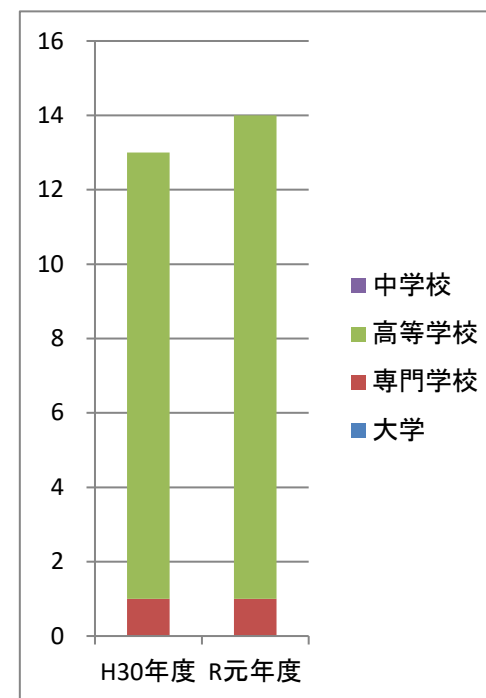
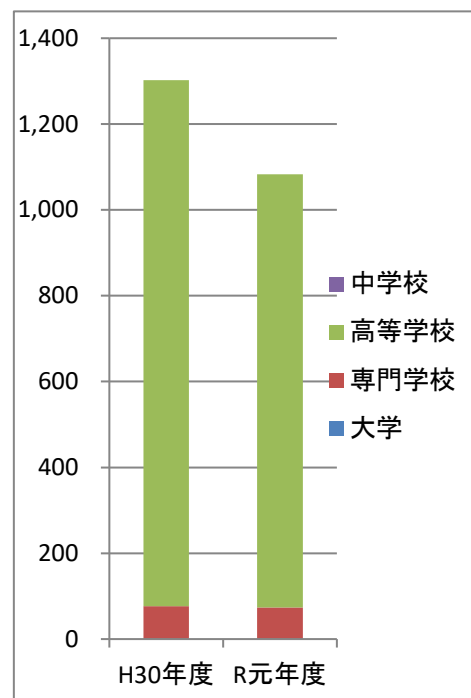
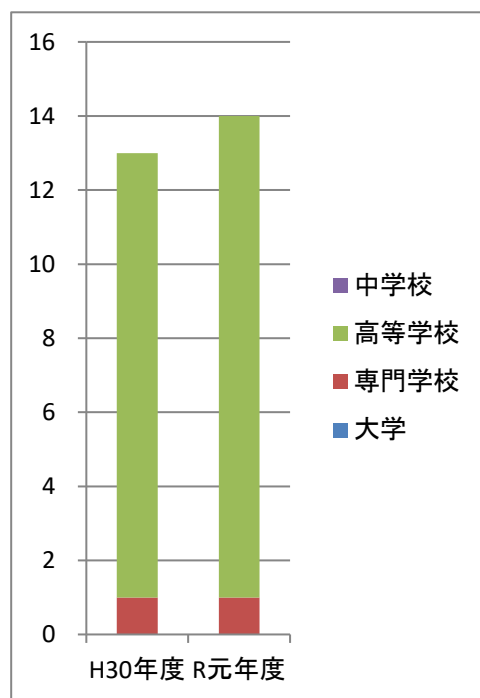
	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	1	1
高等学校	12	13
中学校	0	0
計	13	14

受講者数

	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	77	74
高等学校	1,225	1,009
中学校	0	0
計	1,302	1,083

学校数

	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	1	1
高等学校	12	13
中学校	0	0
計	13	14

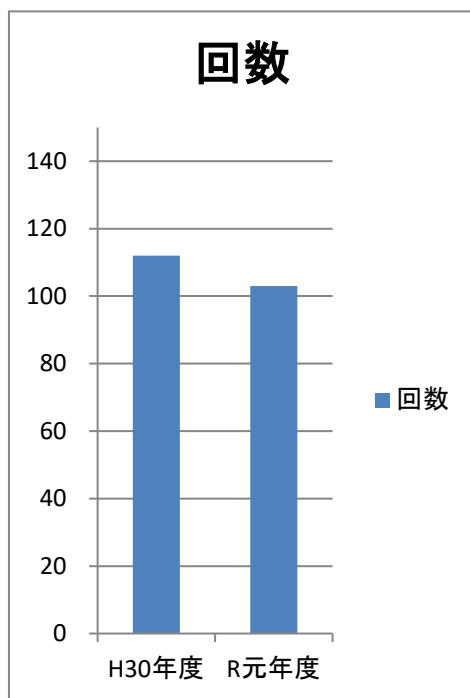


令和元年度 年金制度説明会 実施状況【徳島南】

資料3-6

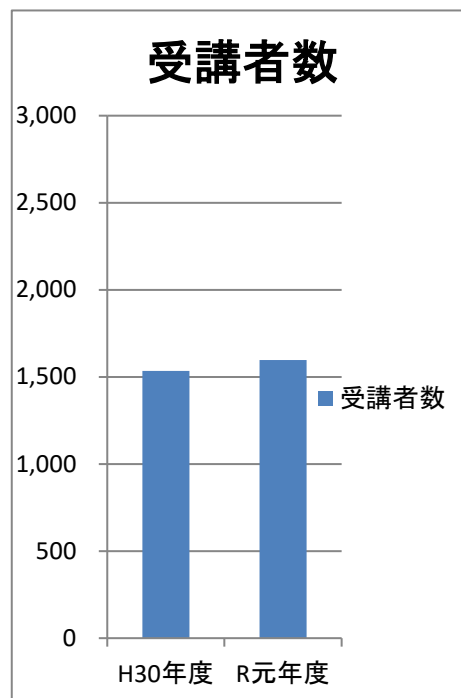
実施回数

	H30年度	R元年度
回数	112	103
計	112	103



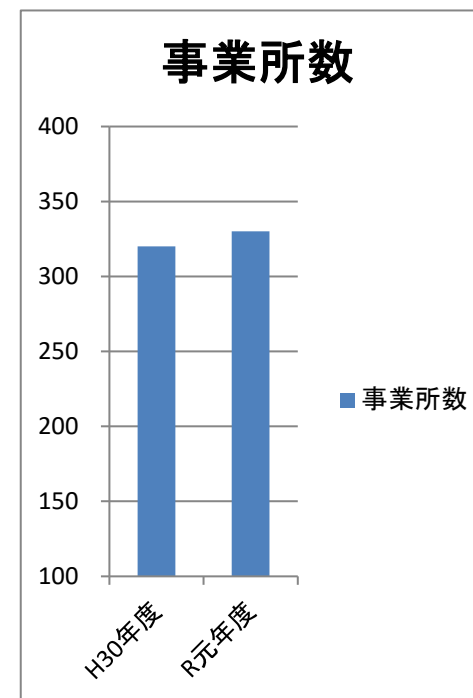
受講者数

	H30年度	R元年度
受講者数	1,534	1,597
計	1,534	1,597



事業所数

	H30年度	R元年度
事業所数	320	330
計	320	330



令和元年度 年金セミナー実施状況【阿波半田】

資料3-7

実施回数

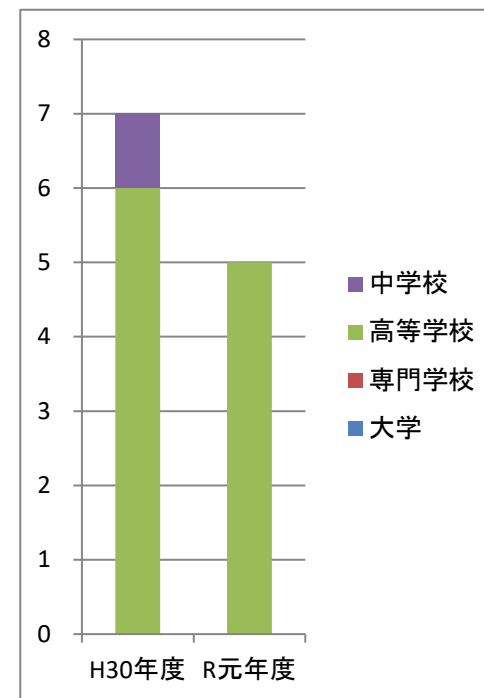
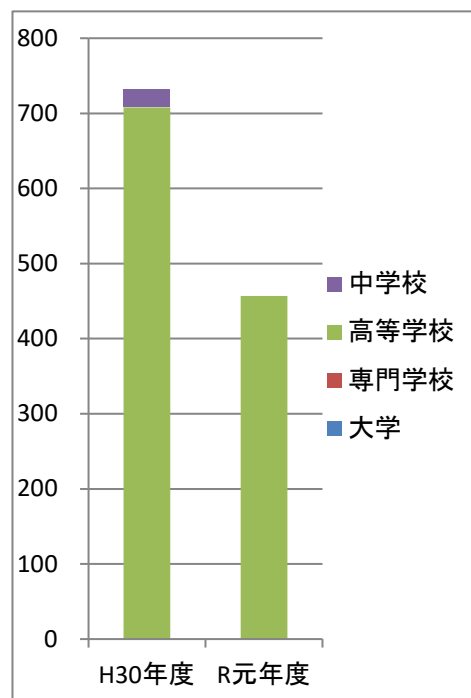
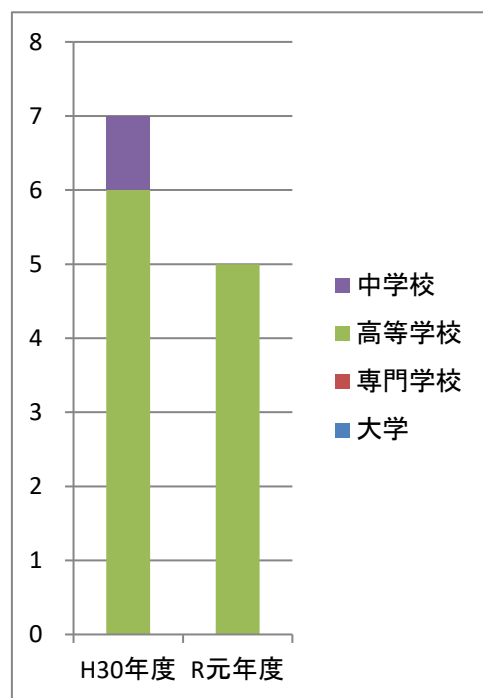
	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	0	0
高等学校	6	5
中学校	1	0
計	7	5

受講者数

	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	0	0
高等学校	708	457
中学校	24	0
計	732	457

学校数

	H30年度	R元年度
大学	0	0
専門学校	0	0
高等学校	6	5
中学校	1	0
計	7	5

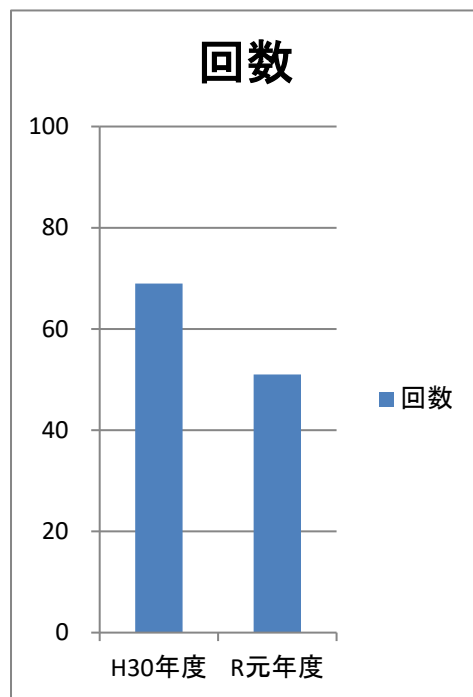


令和元年度 年金制度説明会 実施状況【阿波半田】

資料3-8

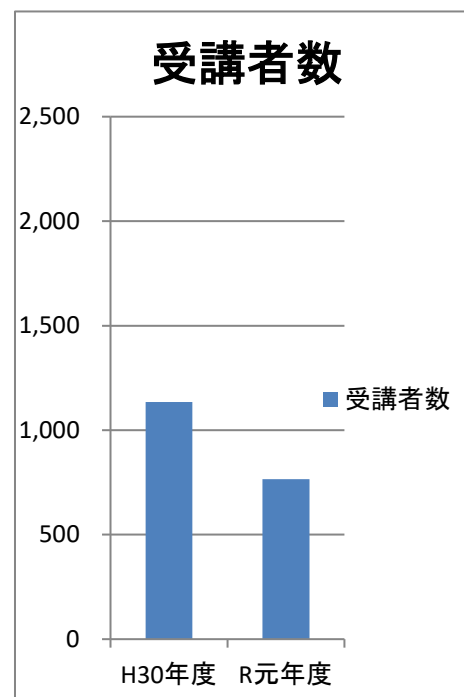
実施回数

	H30年度	R元年度
回数	69	51
計	69	51



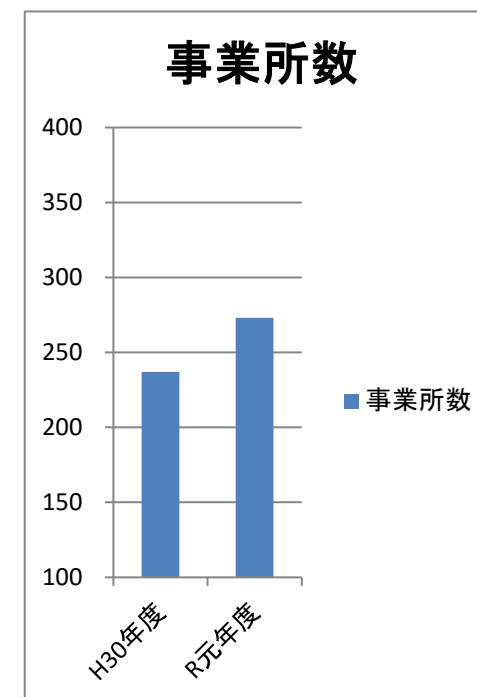
受講者数

	H30年度	R元年度
受講者数	1,134	765
計	1,134	765



事業所数

	H30年度	R元年度
事業所数	237	273
計	237	273



令和元年度

徳島県実施分合計

年金セミナー アンケート集計結果



徳島北年金事務所

◆開催の詳細

学 校 区 分	開催状況	受講者数
専門学校	2校 2回 5月1回 12月1回	167名
高等学校	31校 31回 9月1回 10月3回 11月1回 12月8回 1月11回 2月7回	3,483名
高等学校(夜間部)	1校 1回 11月1回	43名
合計	34校 34回 5月1回 9月2回 10月3回 11月2回 12月9回 1月11回 2月7回	3,693名

※受講者数は、アンケートに回答いただいた生徒数です。

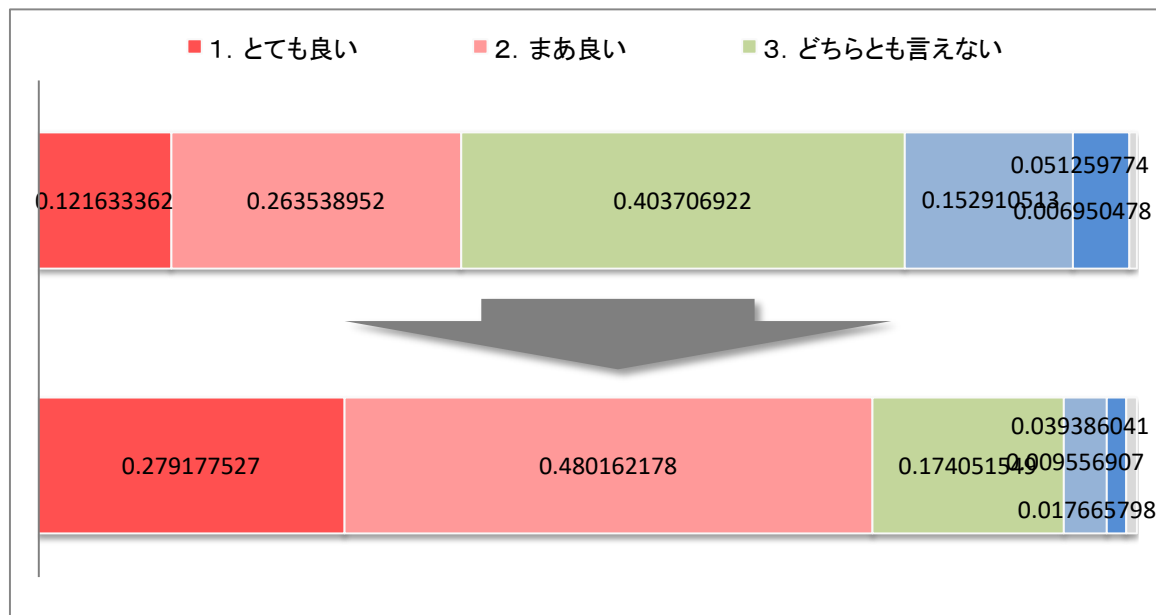
ご協力いただきました学校関係者の皆様、ありがとうございました。

1. 年金のイメージ

○セミナー前

選択肢	回答
1. とても良い	420件
2. まあ良い	910件
3. どちらとも言えない	1,394件
4. あまり良くない	528件
5. 悪い	177件
無回答	24件

セミナー前



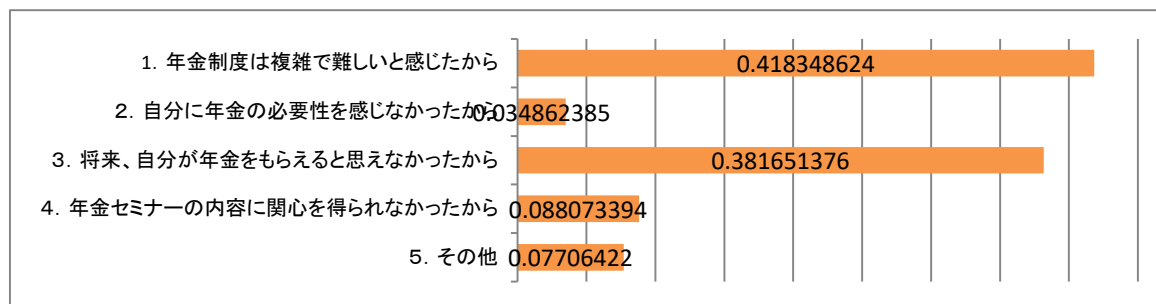
○セミナー後

選択肢	回答
1. とても良い	964件
2. まあ良い	1,658件
3. どちらとも言えない	601件
4. あまり良くない	136件
5. 悪い	61件
無回答	33件

セミナー後

※セミナー後も「3. どちらとも言えない」「4. あまり良くない」「5. 悪い」を選択された方

選択肢	回答
1. 年金制度は複雑で難しいと感じたから	228件
2. 自分に年金の必要性を感じなかったから	19件
3. 将来、自分が年金をもらえると思えなかったから	208件
4. 年金セミナーの内容に関心を得られなかったから	48件
5. その他	42件

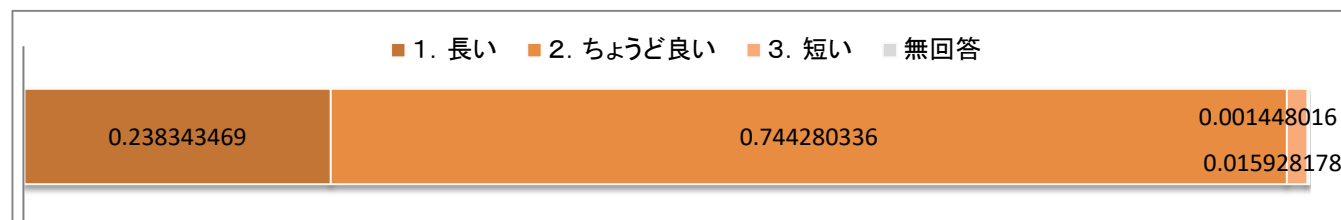


『まあ良い』以上の評価は、セミナー前の **38.5%** から、セミナー後は **75.9%** になりました。

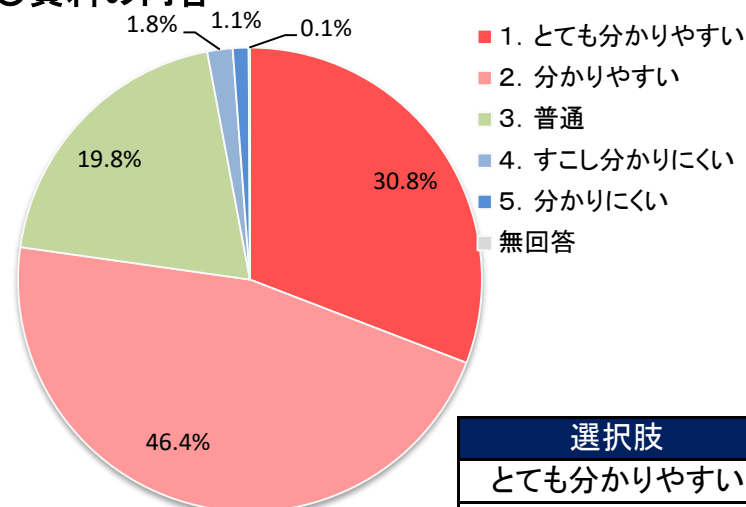
2. 講義について

○説明時間の長さ

選択肢	回答
長い	823件
ちょうど良い	2,570件
短い	55件
無回答	5件

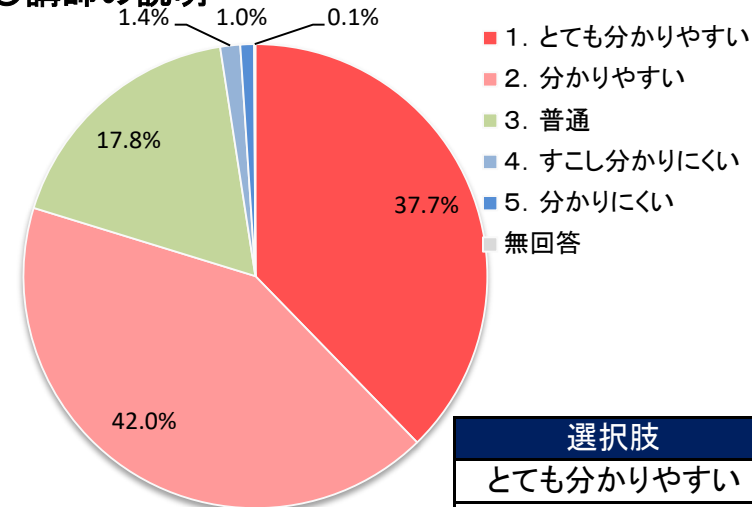


○資料の内容



選択肢	回答
とても分かりやすい	1,065件
分かりやすい	1,602件
普通	684件
すこし分かりにくい	61件
分かりにくい	38件
無回答	3件

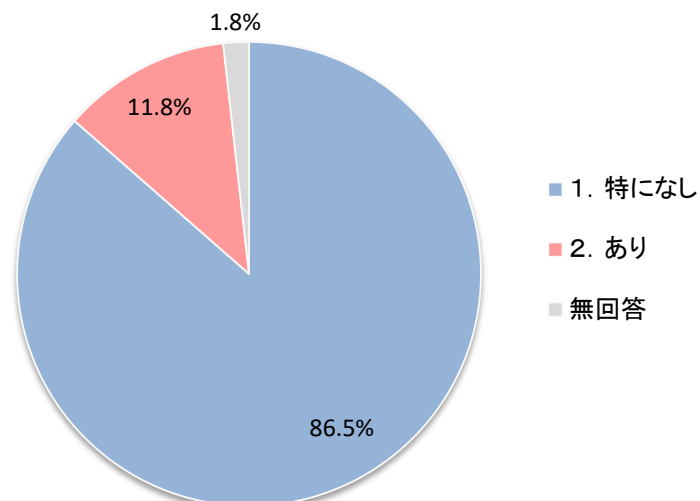
○講師の説明



選択肢	回答
とても分かりやすい	1,302件
分かりやすい	1,451件
普通	615件
すこし分かりにくい	48件
分かりにくい	33件
無回答	3件

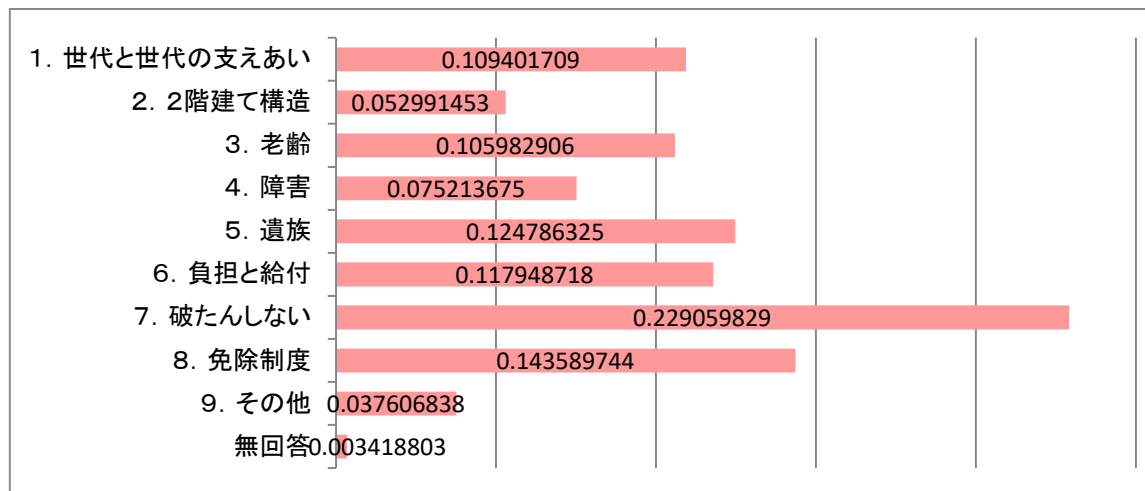
○詳しく説明してほしい内容の有無

選択肢	回答
特になし	2,962件
あり	403件
無回答	61件



「あり」の場合(複数回答)

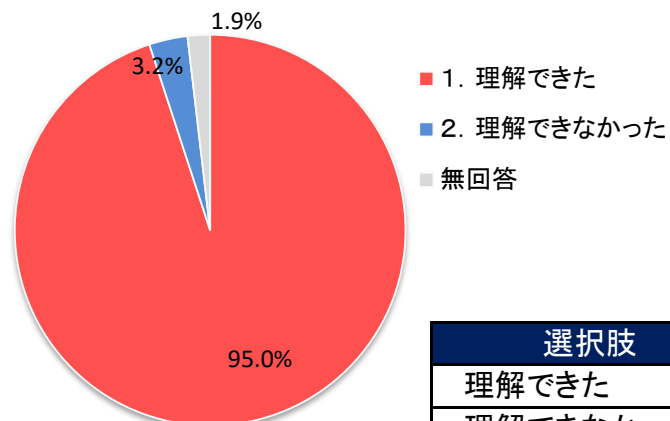
選択肢	回答
世代と世代の支えあい	64件
2階建て構造	31件
老齢年金	62件
障害年金	44件
遺族年金	73件
保険料負担と給付	69件
公的年金は破綻しない	134件
保険料の免除制度	84件
その他	22件
無回答	2件



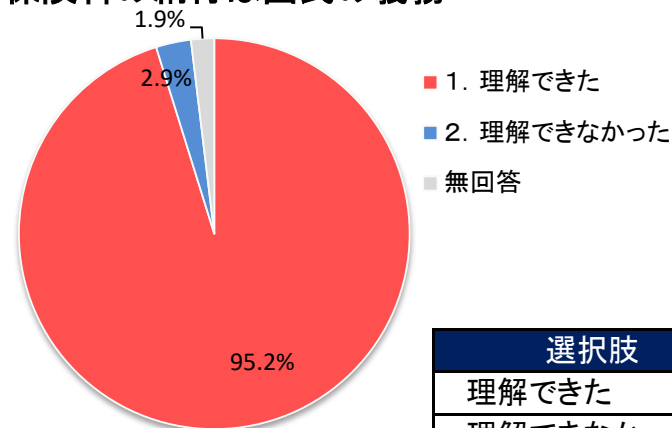
その他の主な内容

3. 年金制度の理解度

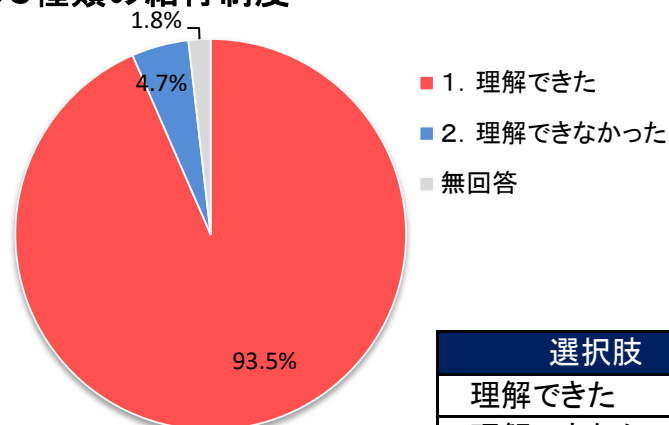
○20歳になったら国民年金に加入



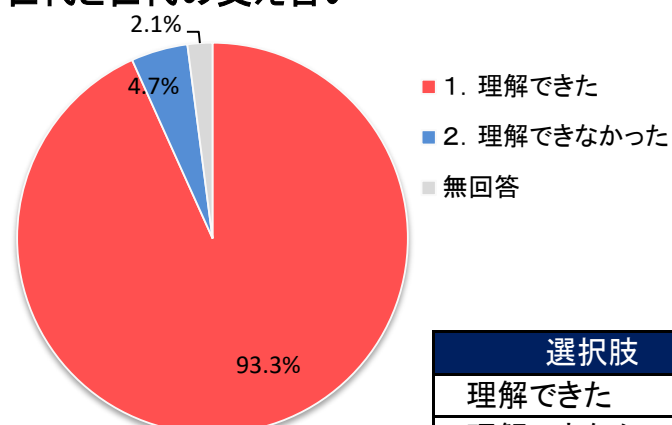
○保険料の納付は国民の義務



○3種類の給付制度



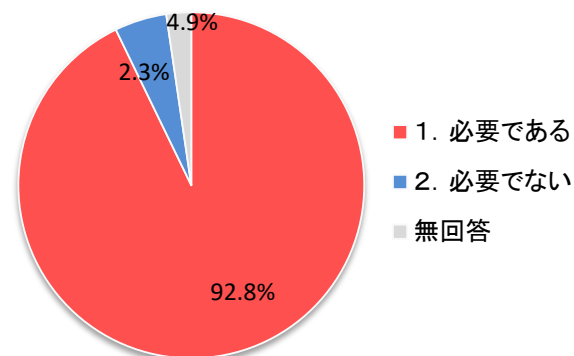
○世代と世代の支え合い



4. 年金制度の必要性

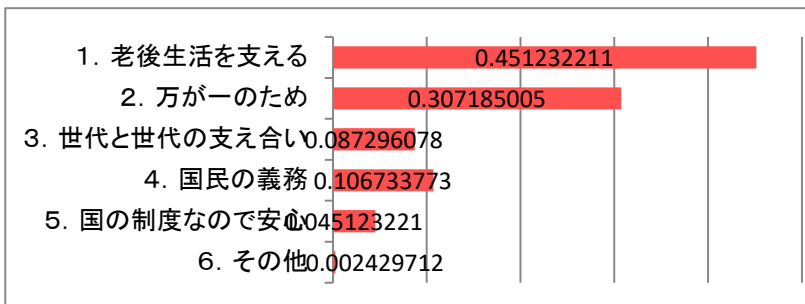
○年金制度は必要か

選択肢	回答
必要である	3,203件
必要でない	168件
無回答	80件



「必要」の場合(複数回答)

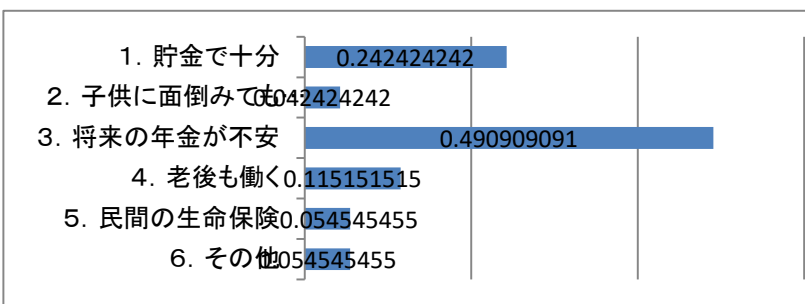
選択肢	回答
老後生活を支える	2,600件
万が一のため	1,770件
世代と世代の支え合い	503件
国民の義務	615件
国の制度なので安心	260件
その他	14件



その他の主な内容

「必要でない」の場合(複数回答)

選択肢	回答
貯金で十分	40件
子供に面倒みてもらう	7件
将来の年金が不安	81件
老後も働く	19件
民間の生命保険	9件
その他	9件



その他の主な内容